

平成28年10月鳥取県中部地震の体制及び災害状況等

1. 地震の状況

鳥取県倉吉市、湯梨浜町、北栄町において、10月21日14時07分に震度6弱の地震が発生。津波の発生無し。

2. 本部、各事務所体制及びダム管理所の防災体制

非常体制：本部、倉吉支部、中国技術支部

3. 施設被害情報・対応状況等

【国管理河川】天神川水系小鴨川堤防天端クラック確認。応急対策完了。

【利水（農水）ダム】 下蚊屋ダム：貯水池の法面小崩落。

西原ダム：ダム天端に微少クラック

【国管理道路】 通行止めなし。片側交互通行1箇所。

【県管理道路】 通行止め鳥取県3箇所

【港湾施設】 重要港湾・地方港湾：被害情報なし

【営繕施設】 整備局庁舎：軽微な被害のみ

官庁施設：断水等4施設で被害報告（断水は復旧済）

【都市施設】 公園：鳥取県【1市1町】4公園（軽微な損傷）

下水道：鳥取県マンホール付近陥没41箇所

内、通行止め6箇所（迂回路有）

公営住宅：鳥取県【4市4町】141棟（軽微な損傷）

岡山県【1市1町】8棟（軽微な損傷）

4. リエゾン（情報連絡員）派遣状況

27日は職員2名が活動実施。（発災日から延べ64人・日）

倉吉市、北栄町、三朝町については、倉吉河川国道事務所に「鳥取県中部地震支援対応窓口」を設置し情報を入手。

鳥取県庁 27日以降、鳥取河川国道事務所から適宜派遣

北栄町役場 26日帰還

湯梨浜町役場 2名活動中

三朝町役場 25日帰還

5. TEC-FORCE（緊急災害対策派遣官）派遣

27日は職員19名が活動実施。（発災日から延べ138人・日）

【先遣班司令】2名（出雲河川）

26日 倉吉河川国道事務所にて、各班へ指示・連絡調整。

27日 倉吉河川国道事務所にて、各班へ指示・連絡調整。

平成28年10月27日10:00現在

【被災状況調査班①】 4名（河川部2名、太田川1名、総務部1名）

【被災状況調査班②】 4名（太田川4名）

【被災状況調査班③】 4名（道路部3名、総務部1名）

【被災状況調査班④】 2名（営繕部2名）26日帰還

【被災状況調査班⑤】 5名（営繕部5名）

○湯梨浜町

26日 道路、河川及び町施設（建物）被災調査、橋梁調査、報告書作成

27日 道路被災調査、橋梁調査、報告書作成（予定）

○北栄町

26日 道路調査結果を町へ報告、被災建築物応急危険度判定を実施

27日 予定なし

6. 上空調査（防災ヘリ）

発災日（21日）から2日間防災ヘリ1機（愛らんど号）を派遣し調査を実施。

21日 14:50 高松空港離陸、鳥取県内調査、17:20 出雲空港着 被害情報なし。

22日 8:30 出雲空港離陸、砂防、河川、道路関係の被災状況調査を実施。

14:30 出雲空港離陸, 16:00 出雲空港帰還。

23日【愛らんど号】出雲空港待機

24日【愛らんど号】14:00 出雲空港離陸, 15:10 高松空港着待機

【きんき号・はるかぜ号】拘束解除

25日以降 【愛らんど号】高松空港待機

7. 災害対策機械の派遣

発災日（21日）から災害対策機械を2台が活動。

【照明車】倉吉市役所（1台）で損傷箇所監視を実施。22日帰還。

【待機支援車】倉吉河川国道事務所（1台）へ派遣しTEC-FORCE活動支援。

22日から待機中。

8. 物資要請対応

【土のう袋・ロープ】

■自治体要請への対応（リエゾン情報）として土のう袋 12,000 袋、ロープ 7,300m を提供。

鳥取県からの要請で倉吉市・湯梨浜町・北栄町に提供。

・土のう袋 9,000 袋（鳥取河川国道）

・ロープ 800m（倉吉河川国道）

湯梨浜町・三朝町からの要請で提供

・湯梨浜町土のう袋 2000 袋、ロープ 5,000m（松江国道）

・三朝町土のう袋 1,000 袋、ロープ 1,500m（鳥取河川国道）

【ブルーシート】

■倉吉市・湯梨浜町・北栄町・三朝町からの要請（リエゾン情報）でブルーシート

3,443枚を提供。

- ・倉吉市1006枚（倉吉河川国道、岡山河川、境港湾・空港）
- ・湯梨浜町530枚（松江国道）
- ・北栄町1,037枚（日野川河川、出雲河川、倉吉河川国道、岡山国道、境港湾・空港）
- ・三朝町870枚（鳥取河川国道、岡山河川）
- 湯梨浜町からの要請（リエゾン情報）でカラーコーン、コーンバーを提供。
- ・湯梨浜町セーフティコーン100個、コーンバー50個（倉吉河川国道）

9. 被災建築物応急危険度判定の支援

- ・鳥取県からの要請にもとづき、近隣各県から28名の職員が応急危険度判定の支援を実施予定（24日～26日）⇒中国地整からも職員5名を派遣